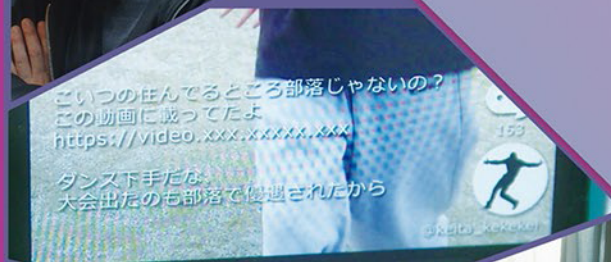


シリーズ・人権を考える

中学生以上・一般向け／約21分

いつの間にか拡散

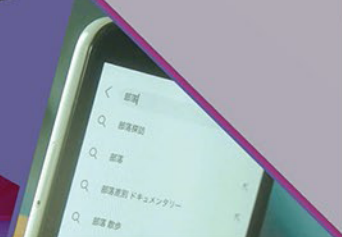
ネットに潜む部落差別



あなたのコメントを書く...



こんなのおかしいから
一緒に闘いたい、って
思っている人も
たくさんいるよ。



監修のことば

一般社団法人 山口県人権啓発センター 事務局長 川口 泰司



2016年12月に施行された「部落差別解消推進法」の第1条には「情報化の進展にともなって部落差別に関する状況に変化が生じている」として、ネットを悪用した差別の深刻化が大きな立法事実となりました。

今、SNS上では部落に対する偏見や差別情報が氾濫し、被差別部落（同和地区）や部落出身者がネット上で晒されるなど、ネットを悪用した差別や人権侵害が深刻化しています。このような中、全国の自治体がモニタリングや差別投稿の削除要請をおこない、プラットフォーム事業者なども差別投稿の削除に対応し始めました。

ネットは差別をする道具にもなります。同時に差別をなくすツールにもなります。

ネット差別の現実を前にして、自分には何が出来るのか、被害者でなく周囲にいる自分たちに何ができるのか。小さなアクションがSNSを通じて大きな声となり、差別投稿を削除させていくこともできます。この作品では無

法地帯化したネット差別を前に「差別を許さない」アクションを起こしていくことで現状を変えていくことの大切さを学ぶことが出来ます。

いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別

企画
意図

近年では、情報化社会の進展により私たちの生活は大きく変化し、それに伴い差別の形態も変わってきました。インターネット上では、電子掲示板やSNS、動画投稿サイトなどにおいて、プライバシーの侵害や名誉棄損、差別的な書き込みなどが全国的に発生しています。

部落差別（同和問題）に関しては、SNSで「〇〇地区は、同和問題・被差別部落である」と書き込んだり、動画投稿サイトでは、特定の地域を撮影した動画に「ここは被差別部落であった」という旨のテロップやナレーションを入れて公開したりする行為が増えて、大きな社会問題となっています。

そこでこの作品では、インターネットに潜む差別意識を解消するにはどのような対策を講じるべきかを示し、部落差別に負けない力をつける必要性を訴えています。

作品
の概要

■誹謗中傷のコメント

ダンス教室で、大会への出場者が発表された。選ばれたのは圭太。ダンス仲間の亮は悔しさを隠しきれず、つい圭太に冷たく接してしまう。

次の日、亮は講師の竹川から、圭太が「大会に出たくない」と言っていることを聞かされる。直接圭太の家まで行き理由を尋ねる亮。

圭太がSNSで公開しているダンス動画に、部落差別に関するコメントが複数寄せられているというのだ。

気にするなよ、と言う亮に圭太は、「なにもわかっていないのに適当なこと言うなよ!」と、家に入ってしまうのだった。

■インターネットの中に存在する膨大な情報

亮がスマホで部落差別について検索してみると、根拠も無く、面白おかしく拡散されている情報が多いことに気付く。

その中で、真紀と孝則が配信している動画チャンネルに目が留まった。「『部落差別って何?』って思っている子も多いと思うんだよね…正しい情報にたどり着くのが難しい」

亮は見進めるうちに、信頼できるチャンネルであると確信する。

亮はすぐに圭太のもとへ駆けつけ、先日の発言を謝罪すると共に、二人へ相談することを提案するのだった。

■「俺にできること」

オンラインで真紀と孝則へ相談することになった二人。真紀から、圭太への悪質なコメントは削除できること、当事者の周りの人が闘うことも大事であることをアドバイスされる。「周りの人が…」圭太が帰った後も考えを巡らせていた亮は、あることを思いつく。

翌日、ダンス教室に嬉しそうな顔で駆け込んできた圭太。特にしつこく悪質なコメントをしてきたアカウントが消えていたのだ。亮が、竹川や母親を始め大勢の人に呼びかけて、皆でそれらアカウントを通報していたおかげだった。

■差別を許さない空間へ

大会へ出ることを決意した圭太。亮と竹川に協力してもらいながら、久々にダンス動画を撮影する。

「SNSで匿名でもいいからSOSを出してみて。その声を受けて、アクションを起こしてくれる人がたくさんいるから」

そして、亮への心からのお礼を伝えるのだった。

その後、圭太はまたダンス動画を撮って投稿するようになった。圭太のSNSでは共に闘う仲間も増え、「周りが反論する、差別を許さない空間」が作られていった。こうして圭太は、安心して自己表現できる場を勝ち取ったのだった。

監
修

監修：一般社団法人 山口県人権啓発センター
事務局長 川口 泰司

価
格

ライブラリー価格 本体 ¥68,000 (税込 ¥74,800)
学校価格 (中学校・高校のみ) 本体 ¥33,000 (税込 ¥36,300)

ス
タ
ッ
フ

企画・制作統括：高木 裕己 撮影：伊藤 弘典
プロデューサー：今井 乃梨子 音声：北野 愛有
脚本・監督・編集：夏衣 麻彩子 制作協力：株式会社CLEO

制作・著作/株式会社 映学社

■DVD [カラー] ※字幕版も収録されています

■2024年・映学社作品

- 株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者等の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。
- 本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧下さい。
- なおDVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。詳しい再生上の取扱いについては、ご使用になるプレイヤー、テレビなどの取扱説明書をご覧ください。

●お問い合わせ、お買い上げは……



TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】<http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp